

チャバネセセリ

Pelopidas mathias



種名

分類	セセリチョウ科
----	---------

形態

前翅長 13～21mm。裏面は黄褐色、後翅に細かい小白点がある。翅表は茶褐色、♂は前翅に灰白色斜条の性標をもつ。八重山諸島では、トガリチャバエンセセリと混同されやすい。♂は性標の位置が基部側にずれる。♀は前翅表に白色斑が多く、たいていトガリチャバネセセリより紋が小さい。

分布

本州、四国、九州、南西諸島。東北地方でも記録はあるが、土着しているのは、関東以西の暖地に限られる。イチモンジセリより耐寒性がなく、越冬できずに死ぬことが多い。

出現期

本州では5～11月にかけて、年3～4回の発生。暖かい地方では発生回数が増え、八重山諸島では周年発生を繰り返す。北限近くでは、中齢(3～4齢)幼虫で越冬する。休眠せず、少しずつ食べて成長する。

生態

河原、公園、田畑の周辺など開けた場所に棲む。イチモンジセセリと混棲することが多い。セイタカアワダチソウ、ハナツクバネウツギ、センダングサ類で吸蜜する。湿地で吸水することも多い。

食樹

イネ科のチガヤ、ススキ、アブラススキなど。タケ科、カヤツリグサ科も食べる。

幼虫
(幼生期)

体長 40mm。頭部は亜終齡(4 齡)幼虫まで、黄褐色、終齡(5 齡)は淡緑色、八字型の紫褐色の斑紋をもつ。胸部は細長く、緑色。中齡までは巣をつくる。

出現時期

(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	9	10	11	-
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	---

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チヨウ